

調査事例：ハンダ付け作業員〔飲食による経口摂取〕

環境・健康

作業環境中の気中鉛濃度が $0.01\text{mg}/\text{m}^3$ 以下である作業場のハンダ付け作業員（12社、61名）の血中鉛濃度（幾何平均値、幾何標準偏差）は、1名（ $20\mu\text{g}/\text{dl}$ ）を除き、非ばく露者群と差が認められません。

ハンダ付け作業員の中では血中鉛濃度が異常に高い（ $20\mu\text{g}/\text{dl}$ ）作業員について調査したところ、休憩時間に作業場で飲食していることから、鉛の飲食による経口摂取が考えられました。

このように、検査値の分布からの異常値に着目することにより、作業場での衛生管理、作業管理などについての有用な情報が得られます。

ハンダ付け作業員血中鉛の分布からの異常値の調査事例

	ハンダ付け作業員	非ばく露者
例数	61 (12社)	105
幾何平均値（ $\mu\text{g}/\text{dl}$ ） （異常値1名除く）	5.31	5.37
幾何標準偏差 （異常値1名除く）	1.38	1.35
最高値（ $\mu\text{g}/\text{dl}$ ） （異常値1名除く）	10	10
異常値（ $\mu\text{g}/\text{dl}$ ）	20	—

（鉛ハンダが、広く一般に使用されていた時期での調査結果）

kes サポート

課題	kes サポート
有害物質の体内ばく露状況の調査	生物学的モニタリング
有害物質の体外ばく露状況の調査	個人ばく露モニタリング
有害物質の体外ばく露の情報	作業環境測定
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施